近畿地方

名前

問1　神戸市で行われた大規模な都市開発の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2022年 青森県公立入試 類似）

1. 内陸の丘陵地を削ってニュータウンを造成し、その土砂を用いて沿岸部を埋め立てて人工島を造成した
2. 沿岸部の遠浅の海を堤防で締め切り、内部の水を排水する干拓によって広大な農地を造成した
3. 河川の下流に広がる三角州を大規模に改良し、地盤をかさ上げして工業用地として利用した
4. 山間部の森林を切り開いて段々畑を作り、傾斜地を利用した果樹栽培専用の地域を形成した

問2　日本の都道府県別の工業統計において、全国平均と比較した際の大阪府の事業所の特徴について述べた文として正しいものはどれですか。（2022年 栃木県公立入試 類似）

1. 従業員300人以上の大規模な工場の割合が、全国の都道府県の中で最も高い。
2. 従業員10人未満の小規模な事業所が占める割合が、全国平均よりも高い。
3. 1事業所あたりの製造品出荷額が、輸送用機械を中心に全国で最大である。
4. 小規模な事業所は激減しており、現在は大規模な外資系工場が大部分を占めている。

問3　兵庫県の南北による気候の差異について述べたものとして、誤っているものはどれですか。（2025年 兵庫県公立入試 類似）

1. 中央部の中国山地を境にして、北側と南側では冬の降水量や天候に明確な違いがある。
2. 北部の山間部では、冬に北西の季節風の影響を強く受け、積雪が見られることが多い。
3. 南部の瀬戸内海側では、北部に比べて年間を通じて日照時間が長く、温暖な気候である。
4. 北部の日本海側では、冬の降水量が多いため、南部に比べて年間の降水量が非常に少ない。

問4　滋賀県の2015年から2045年にかけての年齢3区分別人口の推移について、将来推計から読み取れる傾向として適切なものはどれですか。（2022年 滋賀県公立入試 類似）

1. 老年人口の増加よりも年少人口の減少が緩やかなため、少子化が改善に向かう。
2. 年少人口と老年人口がどちらも増加することで、総人口の減少が相殺される。
3. 総人口の減少に伴い、年少・生産年齢・老年すべての区分が減少する。
4. 生産年齢人口と年少人口がともに減少し、老年人口のみが増加する。

問5　東大阪市で行われている、中小企業のネットワークを活かしたものづくりの事例と、その産業構造上の特徴について述べた文として正しいものを次の中から選びなさい。（2020年 群馬県公立入試 類似）

1. 企業間の連携を禁止し、それぞれの企業が独立して独自のブランド製品のみを市場に供給している
2. 1事業所あたりの従業員数が非常に多く、大規模な工場での自動化による大量生産を主な強みとしている
3. 1事業所あたりの従業員数は比較的少ないが、各企業が専門技術を分担し、人工衛星などの製造に関わっている
4. 新幹線の部品などの精密な製品は、技術漏洩を防ぐためにすべて特定の巨大企業が独占的に製造している

問6　日本の多くのニュータウンでは、建設から数十年が経過し、住民の高齢化や人口減少が進行しています。こうした状況において、持続可能な街づくりを目指すために行われている「若年人口」を増やすための工夫として、その目的と内容が合致している説明はどれですか。（2023年 埼玉県公立入試 類似）

1. 高齢者の外出を控えるように促し、若者が街の施設を優先的に利用できるような条例を制定する。
2. 若年層が好む大規模なレジャー施設を建設するため、既存の公園や学校をすべて解体する。
3. 交流の場を設けて世代間のつながりを強めるとともに、子育て環境を整備して若い世代の定住を促す。
4. 人口減少を食い止めるため、空き家となった住宅をすべて公的機関が管理し、更地のまま保存する。

問7　日本の総人口に占める三大都市圏の人口割合を比較した際、東京大都市圏に次いで2番目に高い割合（約14.4%）を示し、大阪市、神戸市、京都市などの政令指定都市を含む都市圏の名称として最も適切なものを選びなさい。（2022年 青森県公立入試 類似）

1. 東京大都市圏
2. 大阪大都市圏
3. 北九州大都市圏
4. 名古屋大都市圏

問8　滋賀県の琵琶湖で水質保全活動が重要視されている理由について説明した文として、最も適切なものはどれですか。なお、統計上、大阪府では人口の約99.6%、京都府では約70.6%が琵琶湖を水源とする水を利用しており、これらの府県の下流地域は、人口密度が1平方キロメートルあたり2,000人を超える非常に高い地域となっています。（2022年 岩手県公立入試 類似）

1. 琵琶湖から流れる水は、人口密度が高い下流地域の膨大な数の人々にとって、欠かせない生活用水となっているから。
2. 下流の大阪府や京都府は人口密度が低いため、水の需要が少なく、水質が悪化しても社会的影響が小さいから。
3. 琵琶湖の水質が悪化すると、下流にある大阪湾の塩分濃度が急激に上昇し、漁業に深刻な被害が出るから。
4. 琵琶湖の水は滋賀県内のみで消費される仕組みになっており、下流の府県では農業用水としてのみ利用されているから。

問9　兵庫県神戸市などの瀬戸内海に面した地域において、七月の平均気温が約二十八度と高い一方で、降水量が約百ミリメートル程度と他の地域に比べて著しく少ない統計が見られることがあります。このような、一年を通じて温暖で雨が少ない気候区分を何と呼びますか。（2026年 秋田県公立入試 類似）

1. 太平洋側の気候
2. 中央高地の気候
3. 瀬戸内の気候
4. 日本海側の気候

問10　大阪府と、その周辺に位置する兵庫県、奈良県、和歌山県の経済・人口統計を比較した記述として、正しいものはどれですか。（2016年 長崎県公立入試 類似）

1. 兵庫県、奈良県、和歌山県の3県はいずれも、大阪府と同様に夜間人口よりも昼間人口の方が多い。
2. 大阪府は周辺の3県と比較して昼間人口よりも夜間人口の方が多く、典型的な住宅都市としての特徴を持っている。
3. 大阪府の企業数は周辺の3県とほぼ同等であるが、一つの企業あたりの従業員数が極端に多いため人口流入が起きている。
4. 大阪府の企業数は約34.3万社にのぼり、周辺の3県を合わせた合計数よりも多い。

問11　阪神工業地帯が位置する大阪平野の地理的条件と、そこでの工業の発展について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2026年 岐阜県公立入試 類似）

1. 大規模な河川の河口部に位置し、その豊富な水量を利用した水力発電によって、明治初期からアルミニウム工業が盛んになった。
2. 六甲山地などの山々と海に挟まれた平野部に位置し、古くから港湾が整備されたことで原材料の輸入や製品の輸送に有利であった。
3. 広大な関東ローム層の台地が広がっており、地盤が強固であったため、精密機械工業や電子部品工業が内陸部で独自に発達した。
4. 周辺を険しい山々に囲まれた盆地であり、周囲との交流が遮断されていたため、伝統的な工芸品や繊維工業が中心となった。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 内陸の丘陵地を削ってニュータウンを造成し、その土砂を用いて沿岸部を埋め立てて人工島を造成した	神戸市は背後に六甲山地が迫り平地が限られているため、内陸部の丘陵地を切り開いて住宅地（ニュータウン）を確保しました。さらに、その工事で発生した大量の土砂をベルトコンベアなどで海へ運び、ポートアイランドや六甲アイランドなどの人工島を造成する埋め立てに利用しました。干拓は、有明海や八郎潟などで見られる、水を抜いて陸地化する手法であり、土砂を投入する埋め立てとは異なります。
問2	答え 2 従業員10人未満の小規模な事業所が占める割合が、全国平均よりも高い。	大阪府、特に東大阪市や八尾市などの地域には、高度な技術力を持つ中小企業の工場が集積しています。工業統計調査の結果においても、従業員が10人未満の小規模な事業所が占める割合は70%を超えており、全国平均を上回る高い数値を示しているのが大きな特徴です。これらは「街工場」として日本のものづくりを基盤から支える役割を担っています。
問3	答え 4 北部の日本海側では、冬の降水量が多いため、南部に比べて年間の降水量が非常に少ない。	北部の日本海側気候は、冬の降雪（降水量）が多いため、年間を通じた合計降水量は、乾燥しやすい南部の瀬戸内式気候よりも多くなる傾向があります。「降水量が非常に少ない」という特徴は南部の瀬戸内式気候の方に当てはまる説明であるため、この選択肢は誤りです。
問4	答え 4 生産年齢人口と年少人口がともに減少し、老年人口のみが増加する。	滋賀県の人口構成の推計では、15歳から64歳の生産年齢人口と0歳から14歳の年少人口は一貫して減少傾向にあります。対照的に65歳以上の老年人口は増加を続け、2045年には老年人口が年少人口の約2.7倍という極めて高い水準に達することが予測されており、労働力不足や高齢者支援のあり方が今後の重要な論点となります。
問5	答え 3 1事業所あたりの従業員数は比較的少ないが、各企業が専門技術を分担し、人工衛星などの製造に関わっている	大阪府の工業統計を見ると、1事業所あたりの従業員数が全国平均と比べても少ない傾向にあります。これは東大阪市に代表されるような中小企業の多さを示しています。こうした中小企業は、それぞれが「ネジ」や「金型」といった特定の専門分野に特化しており、それらの企業が連携して一つのプロジェクトに取り組むことで、新幹線や人工衛星といった高度な技術が必要な分野で活躍しています。
問6	答え 3 交流の場を設けて世代間のつながりを強めるとともに、子育て環境を整備して若い世代の定住を促す。	ニュータウンの活性化には、単に住宅を維持するだけでなく、新たな世代が住みたいと思える環境作りが不可欠です。交流の場やイベントなどのソフト面と、子育て支援施設の充実などのハード面を組み合わせることで、若年層の流入を促し、地域の活気を取り戻す取り組みが全国のニュータウンで重要視されています。
問7	答え 2 大阪大都市圏	日本の三大都市圏は、人口規模の大きい順に東京大都市圏、大阪大都市圏、名古屋大都市圏となります。大阪大都市圏は、大阪府を中心に兵庫県、京都府、奈良県などに広がり、京阪神とも呼ばれる地域を含んでいます。設問にある約14.4%という数値や、京都・神戸が含まれるという特徴は大阪大都市圏に該当します。
問8	答え 1 琵琶湖から流れる水は、人口密度が高い下流地域の膨大な数の人々にとって、欠かせない生活用水となっているから。	琵琶湖から流れ出る水は淀川などを通じて下流へと運ばれ、京都府南部や大阪府といった都市部の重要な水源となっています。提示された数値の通り、特に大阪府ではほぼ全ての住民が琵琶湖の水に依存しており、さらにこれらの地域は人口密度が極めて高い過密地域であるため、水質の悪化は非常に多くの人々の日常生活を脅かすことになります。このため、上流に位置する滋賀県だけでなく、流域全体で水質を保全することが社会的に極めて重要な課題となっています。
問9	答え 3 瀬戸内の気候	瀬戸内海沿岸の地域は、北側を中国山地、南側を四国山地という険しい山々に挟まれています。この地形的要因により、夏と冬の季節風が運んでくる湿った空気が山地で遮られるため、年間を通じて降水量が少なく、晴天の日が多い温暖な気候となります。
問10	答え 4 大阪府の企業数は約34.3万社にのぼり、周辺の3県を合わせた合計数よりも多い。	大阪府は近畿地方の経済の中心地であり、約34.3万社という膨大な数の企業が立地しています。この数は、周辺の兵庫県、奈良県、和歌山県の企業数をすべて合計した数をも上回る圧倒的な規模です。このような経済基盤の集中があるため、周辺府県から多くの雇用を創出し、結果として昼間人口の流入を招いています。
問11	答え 2 六甲山地などの山々と海に挟まれた平野部に位置し、古くから港湾が整備されたことで原材料の輸入や製品の輸送に有利であった。	阪神工業地帯は、大阪湾に面した臨海部に大規模な工場が立ち並び、海上輸送を軸に発展してきました。戦前は「東洋のマンチェスター」と呼ばれるほど繊維工業が盛んでしたが、戦後は鉄鋼や石油化学などの重化学工業へと転換し、近年ではパネルや電池などの環境関連産業の集積も進んでいます。